



公共交通を考える



地域公共交通計画が完成しました

元年度から地域の代表者や有識者、公共交通事業者、国や県の機関と検討してきた「東かがわ市地域公共交通計画」が完成しました。この計画は、地域へのアンケート調査や聞き取り調査から見えてきた本市の公共交通に関する問題点などを踏まえ、地域公共交通の課題を設定し、本市にとって望ましい公共交通の姿を目指すためのものです。

計画は3年度から7年度までの5カ年にわたるもので、これから取り組んでいく事業の内容や評価指標、目標値についても記載しています。



東かがわ市 地域公共交通計画

▲東かがわ市地域公共交通計画の表紙
市ホームページに計画の全文を掲載しています。

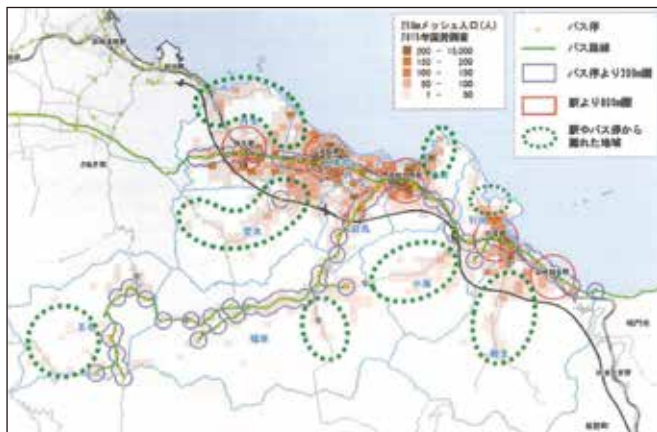
地域の課題は地域によって違う

本市にはバス路線としては高松駅から引田駅を結ぶ引田線、三本松駅から白鳥病院を経由して五名福栄方面に向かう五名福栄線、翼山温泉から引田駅を通り鳴門方面に向かう引田線(徳島バス)が、鉄道では沿岸部を高徳線がそれぞれ走っています。また、市内にはタクシー事業者が2社あり、市内全域をカバーしています。市が運行するコミュニティバスなどはありません。

今回の計画策定にあたり行った地域でのヒアリングやアンケート調査で、市内でも山間部や沿岸部、バスや鉄道の沿線地域や公共交通路線から離れた地域など、地域によって公共交通へのニーズは違うことが分かってきました。

過疎化や高齢化が進む本市では、既存のバス路線や鉄道駅、市内の拠点施設までの移動を担う地域内の新たな移動手段の導入の必要性が高まっています。それぞれの地域に適した移動手段を検討するには地域のみならずとの協働が必要不可欠です。今後は地域「コミュニティ協議会」を中心に、公共交通を重要な課題として積極的に取り組んでくれる地域から協議を行い、導入に向けた実験などにつなげていく予定です。

また、企業の経済活動や観光交流など地域内外の円滑な交流を確保するには既存の公共交通を使ってもらうための取り組みも大切です。こうした今後の取り組みも含め、地域公共交通計画の内容を定期的に広報紙でお知らせしていきますのでぜひご覧ください。



バス停や駅から離れた地域(緑色で囲んだ地域)では、それらや市内拠点施設までの移動手段が課題です。

問合先

地域創生課

TEL 26-1276